

消防年報 2025

令和7年版



埼玉西部消防局

表紙の写真

「第 45 回九都県市合同防災訓練(埼玉県会場)令和 6 年度埼玉県・日高市総合防災訓練」 多重衝突事故救出訓練（上）

令和 6 年 10 月 20 日(日曜日)に日高総合公園で開催された「第 45 回九都県市合同防災訓練(埼玉県会場)令和 6 年度埼玉県・日高市総合防災訓練」に参加しました。訓練は、地震により甚大な被害が発生したことを想定して行われ、消防、警察、自衛隊をはじめとする約 100 の防災関連機関等が参加し、各種訓練を実施しました。

※ 九都県市合同防災訓練

埼玉県を含む九都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）では、首都直下地震等の被害を最小限に食い止めるために、九都県市相互の連携協力体制の充実・強化を図るとともに、住民一人一人の防災知識や減災への備えの向上を目指し、防災訓練を実施することとしています。

「第 52 回全国消防救助技術大会」「陸上の部（引揚救助）」（左下）

令和 6 年 8 月 23 日（金曜日）に千葉県消防学校で開催された第 52 回全国消防救助技術大会に「陸上の部（引揚救助）」及び「水上の部（複合検索、水中結索）」合わせて 3 種目 9 人の隊員が出場しました。

※ 引揚救助

5 人 1 組（要救助者を含む。）で 2 人が空気呼吸器を着装して搭上から塔下へ降下し、検索後、要救助者を塔下へ搬送し、4 人で協力して塔上へ救出した後、ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホール等での災害を想定した訓練です。

「化学消防ポンプ自動車の更新」（右下）

令和 7 年 3 月に狭山消防署富士見分署の化学消防ポンプ自動車（富士見化学 1）を更新しました。この車両は、自車のタンク内に薬液を貯蔵し、これを水と適切な比率で混合させて発泡状態にしたものを大型の放水砲で火点に注ぐという機能を備えています。粘性の高い泡は水のように流れず、酸素を遮断して効果的に消火を行います。

裏表紙の写真

「埼玉西部消防局エンブレム」

中央の消防章は、雪の結晶の拡大図を基礎とし、これに日章を中心として水管、管そう、筒先から放出する水柱を配置したものです。また、消防章を囲む 5 本の炎は、組合発足時の構成 5 市（所沢市、飯能市、狭山市、入間市及び日高市）による消防の任務に対する情熱、熱意、調和、団結を表しています。